

学校教育目標 **にこにこ笑顔・ときどき挑戦・どんどん響き合う 傍陽の子**

児童の実態

- 全体的に健康的な生活をしていて欠席が少ないが、体を動かして活動したり、遊んだりする体験が不十分な面が見られる。
- 「挨拶」や「友とのかかわりから学ぶ」ことに取り組む指導の成果が出てきているが、受け身の傾向が見られる。
- 真面目に授業に取り組む着実に学力を身に付けているが、個人差が大きく、表現力や思考力が不十分な姿が見られる。

学校の願い

- ◇ 基礎学力の定着および学習意欲の向上
- ◇ 思いやりの心・明るい挨拶や温かい声かけ
- ◇ 心身のバランス良い成長と基礎体力向上
- ◇ ふるさと「傍陽」への思い・誇り

保護者・地域の願い

- 基礎学力及び学習意欲の向上、健やかな心身の成長と基礎体力の向上。
- 自他に優しい心を持ち、誰にでも挨拶ができ、ふるさと傍陽を誇りに思う子ども。
- 主体的に行動し、自分の思いを表現できる子ども。

にこにこ笑顔 【健やかな心と体】	ときどき挑戦 【確かな学力】	どんどん響き合う 【豊かな心】
① 自他の命を大切にして、よりよく伸びようとする子ども ② 友達と共に、体を動かし遊ぶ子ども	① 自ら課題をもち意欲的にねばり強く追究し、学力も体力も向上する子ども ② 自分の考えをもち、友達の考えを聞き話し合い、自分の考えを深める子ども ③ 自ら考え判断し、自分の思いを表現できる子ども	① 明るく挨拶を交わし合い、思いやりの心で友達に接し、互いに協力し合える子ども ② 友達と共に活動し、自他の成長を意識して、共に伸びる喜びを実感する子ども

〔本年度の重点〕 **自分の“ことば”で伝え合おう**

〔重点目標〕

1 太陽のような 笑顔のあいさつ	2 歌声の あふれる学校	3 楽しさを味わえる 本気の取り組み
-----------------------------	-------------------------	-------------------------------

〔重点目標の具現に向けて〕

① 職員から率先して声をかける。児童会活動や学級活動の挨拶運動を支援する。 ② 「はい」の返事、「ありがとう」の感謝の言葉を伝え合い、自発的なコミュニケーションに結び付ける指導を行う。 ③ 学校支援ボランティア、地域の方との交流を実践の場として大切にする。	① 元気な歌声を学校の宝として自覚し合い、音楽を通して心の解放を図っていく。 ② 音楽による表現をステップとして、作文や詩、運動、作品制作、児童会や係の仕事もみんな人と人をつなぐ力があり、自分を輝かせる様々な表現方法があることを伝え、認めていく。 ③ 学級で、全校で、一つのものを作り上げる達成感を味あわせることを通して、全校の和を作り上げていく。	① 「わかった」「できた」喜びが自信となって意欲的に学習に向かえるよう、ユニバーサルデザイン化を含めた授業改善を進める。 ② 学級、縦割り班、全校で、夢中になって遊び込むことを通して、健康な心身と心を通わせ合える人間関係をつくり出す。 ③ 互いを認め合い、支え合い、励まし合う人間関係づくりを学習や活動の礎として、人権教育の視点に立った指導を大切にしていく。
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

地域とともに歩む学校

～信州型CS「傍陽の子どもを育む会」

- 地域の方々の学校支援ボランティアへの参加の奨励。
- 諸行事等への参加、参観と協力を呼びかけ。
- 積極的な情報発信（ホームページ等）。

施設・自然環境・人的環境

- パソコン・実物投影機等、ICT機器の有効な活用。
- 傍陽地域の自然に触れる学習。そえひ水路、岩石園等。
- 異学年交流を通じた人間関係の広がり。

学力向上に向けた授業改善への取り組み

- 授業がよくなる3観点「ねらい、めりはり、みとどけ」が明確で、深い学びにつながる活動がすえられた授業設計を行う。
- 授業のユニバーサルデザイン化を根底において、日々の授業改善を進める。授業公開をとおして、成果と課題を明らかにする。
- NRT、全国学力・学習状況調査等、諸検査の結果を分析し、子どものつまずきを明らかにし、職員間で共有する。
- 外国語、外国語活動、道徳について重点的に研究を進め、成果と課題を明らかにしながら実践する。

家庭学習の充実

- 「家庭学習の手引き」を活用し、課題の出し方、内容、時間、見とどけについて検討し、子どもの学習意欲を高め、家庭と連携を図る。
- 発達段階に応じた家庭学習にするとともに、授業と関連した内容の家庭学習にする。
- 生活学習ノート「紡ぐ（つむぐ）」を活用し、家庭学習の習慣化を図る。